

第 52 回 いわき市民美術展覧会

陶 芸 の 部

令和 5 年 3 月 3 日 ~ 3 月 12 日

午 前 9 : 30 ~ 午 後 5 : 00

い わ き 市 立 美 術 館

- 主 催** いわき市民美術展覧会運営委員会・いわき市教育委員会
いわき市文化協会・いわき市立美術館
- 後 援** (財) 福島県報徳社・福島民報社・福島民友新聞社
いわき民報社・NHK福島放送局・ラジオ福島・福島テレビ
福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・FMいわき
- 協 力** いわき美術協会・いわき陶芸協会・いわき書道協会・いわきアート集団
いわき写真協会

審 査 講 評

陶器、磁器、オブジェなどの造形表現といった多様な応募作品を前にして、審査に携わりつつふと、30年前に陶芸の部新設のために、後に初代の部会長になられた緑川宏樹さんと何度も話し合い、新設を認めてもらうよう市と交渉を重ねた記憶が蘇ってきました。

そもそもいわきには、本郷焼や大堀相馬焼のように伝統を受け継ぐ窯場がたくさんあるわけではありません。交渉中に、そういう地域で本当に市美展に陶芸の部を加える意味はあるのか問われた緑川さんが言った一言が今でも忘れられません。「始めて、絶えず改善しながら続けられれば、やがてはそれが伝統になるのです」

周知のように、緑川さんは器以上に陶を用いた造形で知られていました。そのこともあって、いわき市美展の陶芸の部は、器としての用の美のみを対象とするのではなく、幅広く焼きによる造形表現を受け入れることも大きな特徴のひとつとなりました。

幅広い表現の応募作の中から、今回は阿部幸子さんの「線象嵌花入れ」を市長賞に選びました。同作品は上方をわずかに膨らませ、口辺を鋭角的にすることにより、造形的に絶妙なフォルムになっています。精妙で抑制のきいた象嵌とあわさって、完成度の高い気品ある作品に仕上がったと思います。議長賞を受賞した根本寿恵子さんの「飛翔」は、古代トルコやメソポタミアのテラコッタ神器をほうふつとさせる鳥のくちばしのような口と、胴部のたっぷりとした膨らみや重みのあるテクスチャが一体となって、魅力的に感じました。

教育長賞に選んだ佐藤界さんの「平和への翼」。2体の建物が組み合わされています。一体は明るい色調で賑やかに飾り立てられ、やや小ぶりなもう一体は焼け焦げたようにくすみ、上部は割れが入るなど歪みが生じています。壁面に描かれた国旗などからモチーフとなっているものは明らかですが、「惨禍」そのものではなく、そのあとに来るであろう、あるいは来てほしい「平和」に力点を置いたところに惹かれました。

用の美と自由な発想による造形——どちらも途切れさせることなく深めていってほしいと思います。緑川さんの言葉を借りれば、それが新しい「伝統」になるのですから。

令和5年3月1日

審査員 佐々木 吉 晴

(宇都宮美術館館長/やないづ町立斎藤清美術館館長)

陶芸の部 入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	線象嵌花入れ	阿部幸子	泉玉露
いわき市議会議長賞	飛 翔	根本寿恵子	内郷高坂町
いわき市教育委員会教育長賞	平和への翼	佐藤界	明治団地
《佳作》			
いわき市文化協会会長賞	透 器	青木有紀	郷ヶ丘
福島県報徳社賞	花 器	山内勝	平赤井
美術館友の会賞	花 器	伊藤弘子	平北白土
いわき陶芸協会賞	花器「うす雪」	相川忠司	平絹谷
ギャラリー磐城賞	わら白釉かけ流し扁壺	武藤忠晴	石森
アールスペース泉賞	ラスター彩5客組器	蕪木良子	平北白土
ガス賞(常磐共同ガス株式会社)	花 入 器	佐藤胤信	平下平窪
ひまわり信用金庫賞	四 角 瓶	遠藤靖典	平豊間
ギャラリー木もれび賞	均 齊	渡辺好美	泉ヶ丘
耕楽窯賞	大 す き な 春	橋本栄子	内郷御厩町

※審査員はいわき市民美術展覧会運営委員会での推薦をもとに決定され、三賞及び佳作等は審査員が選考します。

No.	賞	題 名	氏 名	住 所
1		お 多 福	平子タキ子	小川町上小川
2	招待	丹陰石水 Re	佐藤俊之	泉ヶ丘
3	議長賞	飛 翔	根本寿恵子	内郷高坂町
4		春・うらら	佐藤淑子	泉ヶ丘
5	遺作	陶舞衣99-II	星尚子	
6	教育長賞	平和への翼	佐藤界	明治団地
7		花器雪の塔	波立恵子	小名浜玉川町
8		巡る一秋・冬そして春一	野地みゆき	平中山
9		和	松本光司	自由ヶ丘
10		裂面白化粧花器	鈴木信子	好間町北好間
11	佳作	花器「うす雪」	相川忠司	平絹谷
12		今未来のとびらをあけるとき	清宮千秋	金山町
13		上手急須	遠藤文夫	平下神谷
14		土に恋して「想い」	高橋晴美	内郷御台境町

No.	賞	題 名	氏 名	住 所
15	招待	釉裏紅搔落文大鉢	樋田和代	小名浜下神白
16		花 手 水	高橋ちづ子	中央台
17		いわきブルー筒茶碗	山崎淳司	田人町南大平
18		露のしずく	志賀シメ子	平
19		嶽	増井俊一	平
20		実 り	井戸川保子	郷ヶ丘
21		ま な 板 皿	鈴木一恵	平赤井
22	佳作	わら白釉かけ流し扁壺	武藤忠晴	石森
23		お嬢さんとロボット花入れ	岩田光枝	平赤井
24		希望のあかり	菊田君江	小川町柴原
25		わがまま花器	佐久間静苑	常磐上湯長谷町
26		富士うさぎ	矢野孝子	平赤井
27		Kさんのカーディガン	村田恵子	郷ヶ丘
28	市長賞	線象嵌花入れ	阿部幸子	泉玉露
29		変形大皿	横田智子	小名浜
30		く る み	増井やよい	平
31	招待	黄瀬戸すみれ紋鉢	児玉良介	常磐関船町
32		初めの一步	住谷弘文	平
33	佳作	均 齊	渡辺好美	泉ヶ丘
34	招待	彩磁あじさい文壺	秤屋苑子	四倉町上仁井田
35		青白磁うつわ(5ヶ組)	佐藤康子	明治団地
36		ひ と つ	木村久美子	四倉町上仁井田
37		葡萄のレリーフ	本田照美	鹿島町久保
38		夏の日	永山満久	平南白土
39		翠	瀧川和徳	好間町上好間
40		流 る る	立原めぐみ	内郷宮町
41		無釉焼締波紋花器	吉田多喜子	岡山県瀬戸内市牛窓町
42	佳作	花 入 れ	佐藤胤信	平下平窪
43	佳作	透 器	青木有紀	郷ヶ丘
44		首長焼締花瓶	阿部新一	錦町
45		見ざる聞かざる言わざるの鹿威し。	松本文勝	泉町滝尻
46		巴	岩崎英明	平
47	佳作	花 器	山内勝	平赤井
48	招待	と っ け び	箱崎りえ	平中神谷
49		幸せな記憶	稲葉一実	中央台
50		二筋壺	石井光榮	内郷高野町
51		紫陽花花器	兜森千恵子	小名浜大原

No.	賞	題 名	氏 名	住 所
52		花 瓶	片 寄 知 春	四倉町大森
53		泡・泡達の中に虹が!	山 崎 京 子	内郷綴町
54		ドクダミ文組皿	國 分 宣 子	鹿島町米田
55	佳 作	花 器	伊 藤 弘 子	平北白土
56		蔓 文 花 入 れ	遠 藤 靖	渡辺町田部
57	招 待	彩 磁 香 炉	伊 藤 由季子	小名浜上神白
58		鉄 線 花 器	大 平 康 子	小名浜大原
59		う ず し お	伊 藤 陽 子	泉町滝尻
60		入 れ 子 碗	野 口 孝 寛	三和町合戸
61		練 り 込 み だ 円 皿	福 田 敦 子	平
62		八 ッ 手 花 器	横須賀 政 雄	三和町上永井
63		西 洋 の つ ぼ 未 来	鈴 木 孝 子	内郷白水町
64		彩 色 花 器	荻 野 イチ子	泉町
65		水 差 し	小 川 節 子	内郷綴町
66	佳 作	大 す き な 春	橋 本 栄 子	内郷御厩町
67		茶 そ ば 釉 花 器	山野辺 よね子	四倉町
68		華	米 山 努	勿来町
69		百 合 一 輪	熊 谷 康 男	好間町中好間
70	佳 作	ラスター彩5客組 器	蕪 木 良 子	平北白土
71		小 花	会 川 靖 子	四倉町上仁井田
72	佳 作	四 角 瓶	遠 藤 靖 典	平豊間
73	招 待	両面使い角皿「雨」	山 川 博 士	平赤井
74		気 取 っ た 紳 士	茂 木 秀 夫	平上荒川
75	招 待	風 と 水	横 山 猛	草木台
76		象嵌薔薇三段咲模様花瓶	矢 内 けい子	泉ヶ丘
77	招 待	塩 釉 鉢	新 谷 辰 夫	大久町大久
78	招 待	地 力	鈴 忠 壽	鹿島町走熊
79	招 待	想 う	平 子 貞 男	小川町上小川
80	招 待	innocent blue	近 藤 賢	四倉町細谷
81	招 待	象 嵌 彩 夕 に 佇 む	近 藤 学	四倉町細谷

いわき市民美術展覧会陶芸の部歴代三賞受賞者一覧表

回数	年度	市長賞	議長賞	教育長賞
24	平成6	吉田重信	坪内亜希子	井上征子
25	7	伊達義道	森大岳	太田太
26	8	星尚子	根本寿恵子	井上征子
27	9	古樫冬子	平子タキ子	和知キミ子
28	10	星尚子	中島亨	平子貞男
29	11	平子貞男	箱崎りえ	水野山翠
30	12	斉藤浩子	児玉良介	水野山翠
31	13	鈴木忠壽	菅原洋子	亀田大介
32	14	佐藤俊之	鈴木忠壽	川口江里
33	15	大谷巖	佐藤俊之	鈴木忠壽
34	16	櫛田昌弘	佐藤俊之	加藤由美
35	17	甲高幸男	箱崎りえ	⑬ ⑭ ⑮ 商会
36	18	菅野征市	樋田和代	鈴木康美
37	19	菅野征市	志賀文男	市川陶之臣
38	20	大谷巖	樋田和代	箱崎りえ
39	21	横山猛	佐藤優美	和地二郎
40	22	山川博士	平子貞男	緒方二千夫
41	23	大平登美子	塩山久子	山川博士
42	24	山川博士	樋田和代	伊藤由季子
43	25	佐藤界	石井光榮	鈴木ゆかり
44	26	小川節子	横山猛	箱崎りえ
45	27	鈴木ゆかり	増井やよい	荻野イチ子
46	28	樋田和代	新井節子	蕪木良子
47	29	芳賀明美	阿部新一	荻野イチ子
48	30	伊藤由季子	荻野イチ子	佐藤淑子
49	31	横須賀政雄	横山猛	芳賀明美
50	令和2	高橋雅仁	山崎京子	阿部幸子
51	3	伊藤由季子	芳賀明美	津木野子南

註 陶芸の部は第24回市美術展から開催

